

2016年12月期（第103期） 第1四半期決算

日華化学株式会社（証券コード：4463）

創 立 : 1941年(昭和16)年9月15日

本 社 : 福井県福井市

従業員数 : 連結／1,388名 単体／551名

(2016年3月31日現在)

事業内容 : 繊維を主とする各種産業用界面活性剤
および化学品、化粧品等の製造・販売

2016年4月27日

目次

2016年12月期 第1四半期 業績

-決算概要

-部門別業績

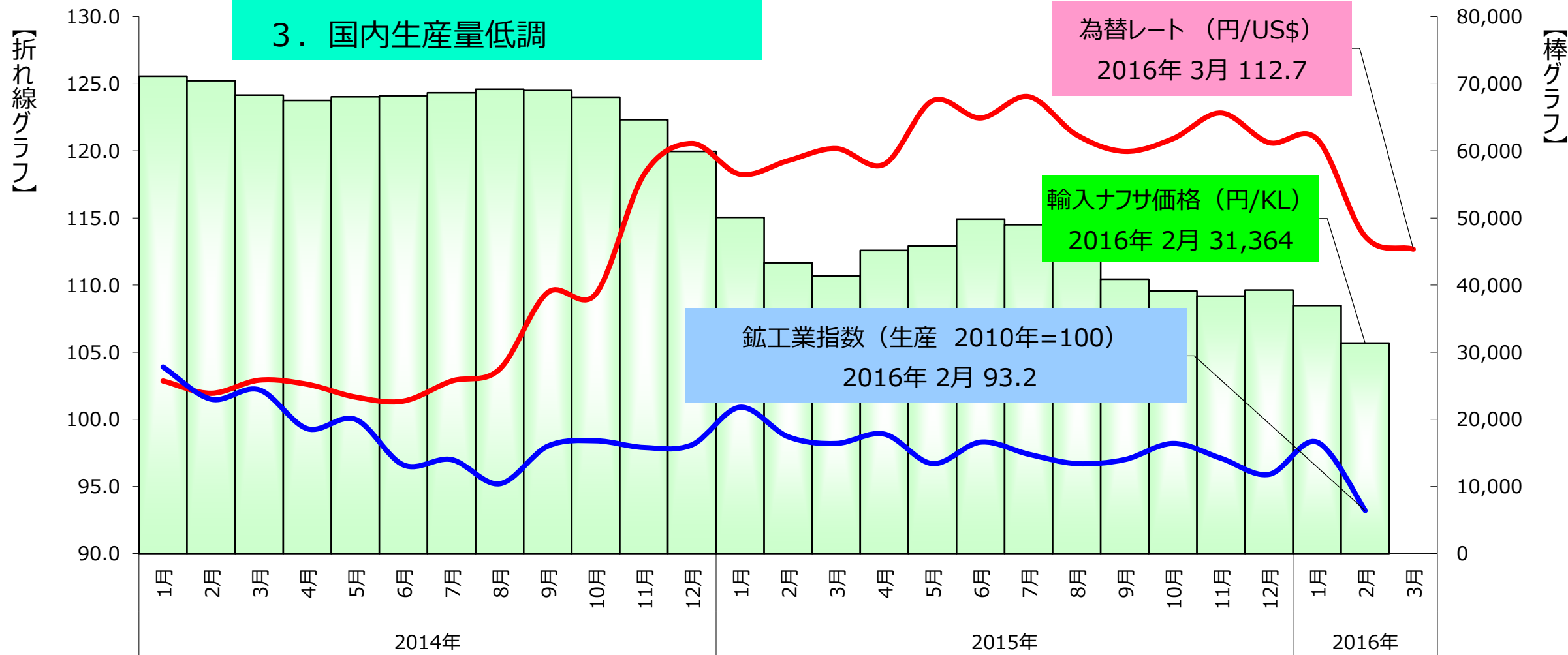
2016年12月期 業績予想

役員異動

※スライドに表示しています金額については、
百万円未満を切り捨てて表示しています。

経営環境

- 1. 円高 2. ナフサ価格安
- 3. 国内生産量低調



【出展】鉱工業：経済産業省HP、為替：みずほ銀行資料、輸入ナフサ：財務省貿易統計

業績 (連結)

(百万円)	15年12月期 第1四半期	16年12月期 第1四半期	増減額	増減率	16年12月期 第2四半期予想	進捗率 (対予想)
売上高	10,938	9,886	-1,051	-9.6%	24,000	41.2%
営業利益	923	303	-619	-67.1%	1,000	30.4%
経常利益	977	366	-610	-62.4%	1,000	36.7%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	497	222	-274	-55.2%	2,500	8.9%

※進捗率は16年12月期第2四半期
業績予想（6ヶ月）に対する進捗率

業績 (連結 種類別)

(百万円)		15年12月期 第1四半期	16年12月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	化学品	8,791	7,313	-1,477	-16.8%
	化粧品	2,146	2,486	+340	+15.8%
	その他	-	85	+85	-
	合計	10,938	9,886	-1,051	-9.6%

(百万円)		15年12月期 第1四半期	16年12月期 第1四半期	増減額	増減率
セグメント 利益	化学品	897	247	-650	-72.5%
	化粧品	400	474	+73	+18.4%
	その他	-	20	+20	-
	全社	-377	-407	-30	-
	消去	2	-30	-33	-
	合計	923	303	-619	-67.1%

ハイライト

・売上高 (9.6%減)

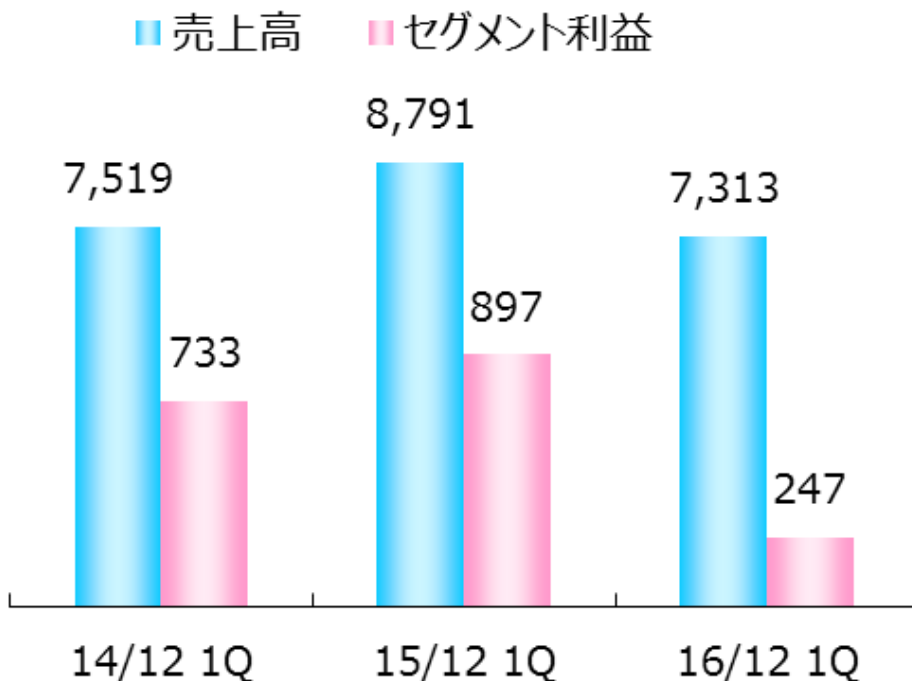
- 化学品：韓国フッ素撥水剤の切替
- 化学品：大智化学子会社化寄与
- 化粧品：山田製薬、韓国好調
- 全体：円高、アジア通貨安

・利益 (67.1%減)

- 化学品：売上高減少
- 全体：人件費増加

化学品セグメント

○連結業績（百万円）



○連結売上高（百万円）

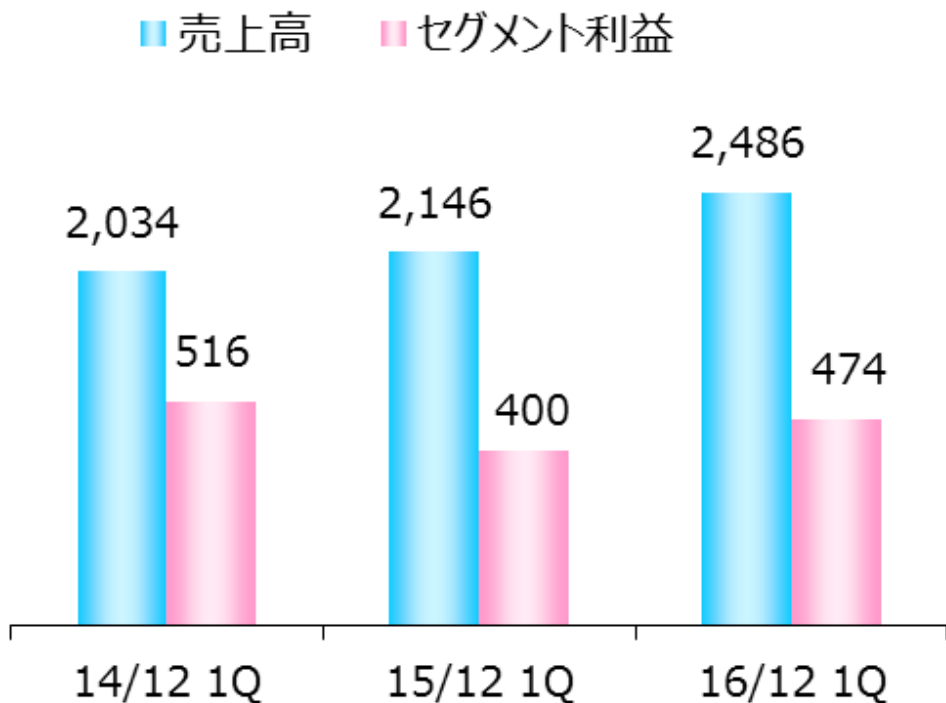
化学品	15年12月期 第1四半期	16年12月期 第1四半期	増減額	増減率
日本	2,943	3,153	+209	+7.1%
グレーターチャイナ	2,691	2,360	-331	-12.3%
東南アジア	2,617	1,413	-1,203	-46.0%
北米	538	386	-151	-28.2%
計	8,791	7,313	-1,477	-16.8%

○当第1四半期の概要

- 国内／（+）ホームクリーニング及びコインランドリー分野が好調に推移
（+）大智化学産業の子会社化が業績に寄与
- 海外／（-）韓国 環境対応型フッ素系撥水剤への切り替えに伴う既存品の販売停止による売上減少
（+）ベトナム、インドネシア好調
（-）円高、アジア通貨安による目減り △326

化粧品セグメント

○連結業績（百万円）



○連結売上高（百万円）

化粧品	15年12月期 第1四半期	16年12月期 第1四半期	増減額	増減率
日本	1,939	2,218	+278	+14.4%
海外	207	268	+61	+29.6%
計	2,146	2,486	+340	+15.8%

○当第1四半期の概要

- 国内／（+）美容室市況伸び悩みもデミ・イーラルが堅調に推移
（+）山田製薬 製造受託事業が大幅伸長
- 海外／（+）DEMI KOREA 引き続き好調

2016年12月期 第1四半期決算総括（前年同期比）

減収減益

・第1四半期業績は想定内も、為替など環境変化が影響

・化学品事業 韓国でフッ素系撥水剤の売上減少

【化学品】減収減益

- 韓国減少（織り込み済み）
- 中国繊維市況低迷による販売減
- ベトナム、インドネシア好調
- 円高、アジア通貨安

【化粧品】増収増益

- 山田製薬 大幅増収
- 韓国、イーラル好調

【全部門】

- 事業成長に伴う人員増

業績予想について 2016年12月期 第2四半期、通期とも業績予想に変更はありません

■ 連結

(百万円)	15年12月期 第2四半期	16年12月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	21,999	24,000	2,000	9.1%
営業利益	1,489	1,000	-489	-32.9%
経常利益	1,632	1,000	-632	-38.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	993	2,500	1,506	151.6%

(百万円)	15年12月期 通期	16年12月期 通期	増減額	増減率
売上高	46,526	50,000	3,473	7.5%
営業利益	2,364	3,000	635	26.9%
経常利益	2,442	3,000	557	22.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,151	3,000	1,848	160.5%

業績予想の概要

- 化学品／繊維 新市場の獲得
- 韓国 環境対応型撥水剤の展開
- 大智化学産業が業績に寄与
- 化粧品事業 多角化・多国化
- 原油安による利益率上昇
- 台湾子会社所有土地売却益
- 年金基金解散による特別損失

【役員異動】（2016年5月1日付け）

代表取締役社長 江守康昌が化学品部門長を兼務し、

取締役 石山叙之が新規事業担当の新東京支店長に

江守 康昌

代表取締役 社長執行役員 兼 化学品部門長

（旧 代表取締役 社長執行役員）

石山 叙之

取締役 東京支店長（新規事業担当）

（旧 取締役 常務執行役員 化学品部門長）

この資料には、2016年4月27日現在の将来に対する見通し及び計画に基づく予測が含まれています。

経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、実際の業績は、これら業績予想と異なる可能性があります。